

学生納付金の見直しについて

令和9年度（2027年度）からの授業料

- ◆ 約11%（58,800円）の値上げ → 年額594,600円（全学年一斉に実施）
- ◆ 検定料、入学金については変更しない。
- ◆ また、2028年度以降においても、物価の動向を踏まえて、学生納付金の水準が実質目減りしていないかを定期的に確認（「スライド制」の考え方を導入）

経済的支援策の拡充

- ◆ 高等教育修学支援新制度に基づく授業料減免対象世帯（2/3免除及び1/3免除）については、値上げ分を免除
- ◆ 本学独自制度として、高等教育修学支援新制度の対象となる世帯年収基準を、物価上昇を踏まえ「380万円以下」から「425万円以下」へと引き上げ、これにより、新たに該当する世帯については、値上げ分を免除
大学院生等についても本学独自制度において同様に対応

令和9年度（2027年度）からの授業料 一覧

区分	現行	2027年度～	差額
学部又は学環	年額 535,800円	年額 594,600円	+58,800円
大学院の研究科又は教育部	年額 535,800円	年額 594,600円	+58,800円
特別支援教育特別専攻科	年額 273,900円	年額 303,900円	+30,000円
養護教諭特別別科	年額 273,900円	年額 303,900円	+30,000円
特別支援学校の高等部	年額 4,800円	年額 4,800円	
幼稚園	年額 73,200円	年額 73,200円	
研究生	月額 29,700円	月額 32,900円	+3,200円
科目等履修生 <small>(高大接続科目等履修生を除く。)</small>	1単位 14,800円	1単位 16,400円	+1,600円
科目等履修生 <small>(高大接続科目等履修生に限る。)</small>	1単位 5,500円	1単位 5,500円	
特別聴講学生	1単位 14,800円	1単位 16,400円	+1,600円
特別研究学生	月額 29,700円	月額 32,900円	+3,200円

学生納付金の見直しによって直接的に改善が見込まれる項目

学生納付金の見直しによって実現する教育環境整備

- 他の資産活用による増収と合わせて、物価高騰に伴う備品費等の減少を回復。
教育研究設備の修繕、更新等を先延ばしにせず順次、実施

収 入	金 額	支 出	金 額
○授業料改定による増収	3.8億円 (推計)	①物価高騰により減少した 教育研究経費（備品、修 繕費）の回復	2.6億円
		②授業科目増設のための非 常勤講師の措置	0.1億円
		③学内の無線LAN関連設備 等の充実・更新	0.5億円
		④MS365の無償提供	0.5億円
		⑤学生支援体制の充実等	0.1億円
合 計	3.8億円	合 計	3.8億円

※収入推計は、減免の対象者数によって金額が異なる可能性がある。

※支出は、他の財源も組み合わせて予算を編成するため、金額は異なる可能性がある。

今後、授業料の改定以外の財源も活用して、以下のような施設設備の整備を実施
又は実施を検討

◆ (完成済み) ※直近のみ

- 情報融合学環等の (D-Square) の施設整備
- 附属学校国際棟の施設整備
- 保健学科の施設の改修

◆ (現在進行中)

- ライフラインの改修
- 各種の修繕 (トイレ、空調等)

◆ (当面の予定)

- 共創学環の施設整備
- 法文南棟の改修
- 学生会館の改修 (※他の土地活用事業の収益が得られ次第、開始を検討)
- 各種の修繕の着実な実施

このほか、施設の状況に基づき順次整備を実施